



KIDS DIARY

放課後 **デイサービス**

放課後デイサービス KIDS DIARY 支援プログラム

営業所名：一般社団法人 優学会放課後デイサービス KIDS DIARY

営業時間：9：30～18：30 送迎実施の有無：有

作成日：2025年1月9日



事業所理念

子どもたちの笑顔と成長を大事にし、 地域とともに育む場所

私たちの放課後等デイサービスでは、子どもたち一人ひとりの個性やニーズに寄り添い、「身体」「認知」「言語・コミュニケーション」「社会性」「情緒」の5領域をバランスよく支援・療育するプログラムを提供します。

私たちは、「自立支援」をテーマに、日常生活の基本的なスキル（着替えや食事、片付けなどの生活習慣）や、社会での行動スキル（挨拶や時間の作り方、公共の場でのマナーなど）習得はもちろん、子どもたちが将来、社会で自分の力を発揮し、目指す職業や役割を見出せるような環境づくりを目指しています。

体験型のカリキュラムや実践的な学びを通じて、興味や得意分野を発見し、それを伸ばす支援を行います。

子どもたちが将来の可能性を描き、生きる事や働くことへの楽しさと自信を育む場所でありたいと考えています。

熊本県の豊かな自然環境や地域資源を活用し、地域行事や体験活動を通じて、多様な人々と関わる機会を提供します。

この交流を通じて、共生社会の一員としての意識を育みながら、地域社会での役割を実感し、未来への希望を持てるようサポートします。

私たちは、専門スタッフによる個別支援計画を基に、子どもたちが「その子らしさ」を活かして成長し、未来に向けた力を培えるよう心を入れて支援します。地域に根差した温かな環境で、子どもたちとともに輝く未来を創るお手伝いをいたします。ぜひお気軽にご相談・見学にお越しください。

支援方針

私たち KIDSDIARY では、子どもたちが安心して過ごせる温かな環境を提供するとともに、
以下の方針に基づいて支援を行います。

- 1 実践を通じた生活力の向上**
生活習慣の確立に加え、料理や買い物、スケジュール管理など、実生活に直結するスキルを、体験を通じて学びます。これにより、家庭や地域社会で役立つ具体的な生活力を高めます。
- 2 キャリア形成を見据えた支援**
体験型学習や地域資源を活用したプログラムを通じて、興味を引き出し、将来の職業や活動につながるスキルを育てます。特に目標設定やチャレンジする姿勢を重視し、子どもたちが自己の可能性を見つけられる環境を提供します。
- 3 地域社会とのつながりを重視した共生の支援**
地域資源や地域行事を活用した活動を積極的に取り入れ、多様な人々と関わる中で、地域社会の一員としての役割を実感できる機会を提供します。
- 4 個別支援の徹底**
一人ひとりの特性や成長段階に合わせた個別支援計画を策定し、目標に向けた丁寧なアプローチを行います。保護者や関係機関との連携を大切に、総合的な支援を実現します。
- 5 子どもたちの自己肯定感の向上**
小さな成功体験を積み重ねることで、子どもたちが「できた！」という喜びを感じられる場を提供し、自己肯定感を高めます。



これらの方針に基づき、子どもたちの健やかな成長と未来への可能性を広げるため、
スタッフ一丸となって支援に取り組んでまいります。

事業部制度を設け、将来の就労に活かす為の疑似体験を

「KIDS DIARY」では、子ども達の、将来の夢に繋がる活動、将来の就労に活かせる為の多様な活動を体験してもらうことを目的とし、主に屋外活動を活発に行ったり、歌やダンスを楽しんだり、絵を書くなどのアーティストの才能を発見したりといった活動を中心とした、「**アクティ部 KIDS**」と、食に興味を持ち、食に通じる仕事に夢を持つ子ども達が所属する「**KIDS 食堂**」と2つの事業部を設立し、いずれかの事業部を選んで所属できる制度を導入しています。

各事業部に所属する際には、社会人と同様の体験として、子ども達は各自面接を受けてもらい、自己紹介やアピールポイントをPR、志望動機の説明等もしてもらいます。その後、合否の採用通知が渡されるなど、通常の採用体験をしてもらいます。所属後は、その事業部で活動する＝『働くという疑似体験』をしてもらい、子ども達自らミーティングや会議を開いたり、準備や目標を設定したりと、その達成に向けて主体的に取り組んでいきます。



アクティ部 KIDS

発案から計画、準備、実行まですべての行程を、利用する子ども達自ら行い、大人達はそれらがうまくいく様にサポートする。

● 仕事内容と取り組み ※これらを自然に仕事と認識するように誘導

- ・ 外出先、活動内容の企画と決定 チームみんなが興味ある企画を子ども達で自ら考案！
- ・ 予約手配・準備物の連絡 体育館やプールなどの外出先への手配と参加の呼びかけの最終確認まで
- ・ カリキュラム決行日の天候確認等 前日もしくは前々日の天候確認と雨天時の代替案を立てる

● ゴール設定案について ※すべての取組みについて、目標達成の喜びや振り返りを

- ・ 発案、実行した各カリキュラムについて 参加人数や、楽しさ、喜び、優しさなどを評価しそれをポイント化
- ・ 記録会や発表会や運動会等の実施 運動能力や技術、才能などのスキルアップを評価する機会を作り、成長の喜びを実感

● 身に付くスキル・将来の姿

- ・ 体力向上・運動嫌いの克服 ○○できるようになった！
- ・ 段取り力 (スケジューリング) いつどこに行くために、いつまでに何をしたらいいか？当日どう行動すればいいか？
- ・ 決断力 (自己決定・自己選択) 自分で選んで楽しめる！その活動でみんなに喜んでもらえる！

健康・生活

外出先や活動内容の企画・準備、スケジューリングなどの手配を通して、健康な生活習慣や計画的な準備の重要性を学びます。

運動・感覚

記録会や運動会で個別の運動目標を設定し、体力向上や運動スキルを楽しみながら向上させます。

認知・行動

ゴール設定やポイントの収集などを通して、目標達成に向けて自ら計画を立てる力や段取り力を養います。

言語・コミュニケーション

連絡や調整、会議での発表などを通じて、仲間との連携力や自己表現の力を高めます。

人間関係・社会性

活動での役割分担や協力を通じて、他者と助け合い、共に目標を達成する力を育みます。



KIDS 食堂

食に興味を持ち、将来、食に係わる仕事を夢見る利用者が所属する。創る過程や、料理したモノを他者に喜んで食べてもらう姿を見て、喜びを与える幸せを知る。それらすべての、その奥深い実体験を楽しく学ぶ。

● 仕事内容

- ・メニューの企画と決定 単に食べたいモノを考案するだけではなく、ゴール設定の目標に向けた内容と同時に、皆が楽しく取り組める企画を
- ・食材を学ぶ、調達方法を体験 食材の栄養価や様々な調理方法を学ぶ。また地域の農家の方達と連携し、新鮮な食材の調達と、その育まれる過程を学ぶ
- ・予算や経費を学び売上目標を それらにかかる経費を学んだり、地域のマルシェ等に出店し販売等を行うことで将来の就労に活かす実体験となる
- ・当日の準備や片付け 決定したメニューへの買い出しや仕入れ、それに必要な調理道具の準備や各自の役割分担等を子ども達で取り決め実行する

● ゴール設定

- ・スキルの目標設定 6か月後、1年後に〇〇〇〇を作れるようになろう！という目標を設定し、そのゴールに向けてスキルを磨き、将来の就労に活かすことを目標とする。
- ・BBQ等の屋外コミュニケーション テントの設営や準備、買い出しや調理などすべてを子ども達が自ら行い、スタッフはそのサポートを行う。また保護者等も一緒に楽しむ機会を作ること、保護者レスパイトの観点から保護者同士の交流の場を設ける。
- ・0円食堂の開催 地域の方々から提供頂いた食物や、農家を営む方々のお手伝い体験を通じて仕入れた食物などをもとに調理し、その方々やスタッフへ料理を振る舞う機会を設ける

● 身に付くスキル・将来の姿

- ・自炊力と行動力 食の大事さや、その作る行程すべてを知り実体験することですべての方々へ感謝することを知る。また自ら行うことや、役割分担をすることでリーダーシップ力を発揮したり、新たな技術力を身につけたり発見することができるようになる
- ・企画力と交渉力・節約力 皆が喜ぶメニューを発案し、実行に至るまでの経緯の体験を重ねることで、企画力と同時にプレゼンテーション力も身につく。また地域の方々等と触れ合い提供していただく交渉力も身につけ、同時に経費削減につながり節約力を身につけることができる

健康・生活

フッキングメニューの企画や食材の調達、準備・片付けを通じて、健康的な生活習慣や節約術、自炊力を育成します。

運動・感覚

買い出しや準備・片付けの作業を通じて、手順を守り丁寧に取り組むことで、感覚の発達や細かい作業のスキルを磨きます。

認知・行動

試食会やバーベキュー、0円食堂の企画をゴールとして設定し、目標達成に向けて計画・行動する力を養います。

言語・コミュニケーション

保護者や地域の方への試食会の実施や食材提供の交渉を通じて、自分の考えを伝え、協力を得る力を伸ばします。

人間関係・社会性

地域や家族との協力を得て役割分担し、共同で活動を進めることで、社会性や他者と助け合う姿勢を育みます。



家族支援

関係機関との連携を緊密に、ご家庭ごとの状況に寄り添った情報提供やご相談をタイムリーに実施します。保護者参加型のイベント活動（例えば運動記録会やレクリエーション発表会などの見学機会の提供、龍田山自然公園・竜北公園など地域の公園への親子ピクニックの開催、児童福祉分野の専門家による各種親子セミナー・勉強会の開催）を実施し、ご家庭において親子間の絆が深まるように支援します。また、保護者同士や保護者と職員間で日々の悩みや不安・困り感を共有できるような茶話会の実施などを通して、職員と保護者間の信頼性の構築にも取り組みます。

移行支援

進学先への詳細な情報提供を実施します。また、必要に応じて学校への見学同行を通して先生方やご担当者様との意見交換に基づき、課題解決に向けた取り組みを実施します。お買い物体験や外出活動を通して金銭感覚、スケジュール管理やタイムマネジメント能力を身に着けたり、クッキング体験をとおして日常生活において不可欠な最低限の自炊力など、生活力全般に関するスキルを自然に習得できるような活動を実施いたします。また、これらの活動をグループ単位で行うことにより、人間関係や集団生活でのマナーを体得できるように支援します。

地域支援 / 地域連携

日々の活動において、公共の施設（図書館・児童館・体育館・バッチングセンター等）を利用することを通して挨拶・順番を守る・交通ルールを守る等、日常生活に不可欠なルール・マナーを習得できるようにします。地域で開催されるマルシェや清掃活動ボランティア等のイベントにも積極的に参加する機会を設け、社会で誰かの役に立つことができる、喜んでもらえるという実感を得られる体験をする中で、社会における自己存在意義や自己肯定感を高めることを通して自立して行動できる力・自信を培います。

職員の質の向上

毎月1回のWEB研修の実施、熊本市および宇城圏域の意見交換会時に開催される各種勉強会への参加、外部研修への参加を必須としています。週次のスタッフミーティングやセルフチェックリストを通して、お子さんの支援方法に関する情報交換を行い、より良い支援につなげます。何よりも実践的なスキルを向上させるために不可欠な、日々のOJTを大切にしており、上司・先輩職員からのフィードバックをすぐに受けること、報告・連絡・相談が気軽かつ迅速に実施できるよう、日ごろから職員ランチ会等を開催するなど、いつでも相談しやすい関係性の構築に努めています。